

マシン油乳剤 ハーベストオイル	取扱メーカー： バイエル 原体メーカー： 出光興産
成分： マシン油……………97.0 % その他 PRTR 該当成分： ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル[PRTR・1種]…1.1 %	性状： 淡黄色澄明可乳化油状液体 毒性： 普通物 消防法： 第4類・第3石油類（非水溶性）・危険等級 III

【品目特性】 ……………

- 独特の精製方法により、高度に精製したオイル（スルホン化価≒0）を使用しているのので、生育期散布での急性的薬害の心配はほとんどない。
- 安定した効果が期待できるよう、原料となるオイルの性状、界面活性剤など製剤面での考慮をしている。
- 薬剤抵抗性出現の心配はない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】 ……………

〈かんきつ〉

- 着色後～夏散布（7月中旬）までいずれの時期でも使用できる。
- 発芽後のジチアノン剤との混用はさけ、近接散布についても注意する。ジメトエート剤との混用はさける。
- 着色後に散布する場合は、果面にべたつく感じが残ることがあるので、そのまま出荷する場合などには留意する。
- ミカンハダニに対して400倍で使用する場合は、2週間から1カ月の間隔を置いて2回目の散布をする。

〈りんご〉

- 発芽前～展葉期（発芽後3週間まで）に使用できる。
- 発芽後（発芽後3週間まで）に使用する場合は、フルオリミド剤、T P N剤、キャブタン剤、チウラム剤との混用はさけ、フルオリミド剤、T P N剤との近接散布もさける。

〈もも〉

- ふ化幼虫に有効なため、できるだけ発芽直前に散布する。

〈茶〉

- カンザワハダニ越冬前（10月中旬～12月上旬）の使用が効果的である。
- クワシロカイガラムシ防除は摘採直後の幼虫発生期に行い、株元まで十分散布する。多発時には100倍で使用する。

〈きゅうり、いちご〉

- 発生初期から7～10日間隔でくり返し散布することが有効であるが、過度の連用はさける。
- 幼苗期の使用はさける。また、収穫間際の散布もさける。
- いちごには他剤との混用はさけ、近接散布についても注意する。

〈びわ〉

- びわ（葉）に使用する場合は、収穫間際の散布は葉にオイル光を生じることがあるのでさける。

【薬効・薬害等の注意】 ……………

- 散布は日中をさけ、朝夕の涼しい時に行う。
- 散布後の降雨は、効果を低下させるので、好天の続く時に使用する。
- 散布液調製後は速やかに使用する。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液などのアルカリ性薬剤やジチアノン剤、T P N剤、水和硫黄剤など及び銅剤との混用はさける。
- よくかきまぜて均一な乳化液を調製し、散布ムラのないよう、十分量を丁寧に散布する。
- 適用作物（全般、かんきつ、りんご、きゅうり、茶、いちご）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】 ……………

- 甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。

●散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用法】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期	本剤及びマシン油を 含む農薬の総使用回数	使用方法
かんきつ	ミカンハダニ	400 倍	200 ～ 700 ℓ	3 月～6 月中旬	—	連続散布
		100 ～ 150 倍		4 月～5 月		
		200 倍		着色後又は秋期 (10 月～11 月)		
	ミカンハダニ カイガラムシ類	150 ～ 200 倍		夏期 (6 月～7 月中旬)		
		60 ～ 80 倍		冬期 (12 月～3 月)		
りんご	カイガラムシ類	50 倍		発芽前		
	ハダニ類	50 ～ 100 倍		芽出し直前直後		
		100 倍		展葉期 (発芽後 2 週間まで)		
		200 倍		展葉期 (発芽後 3 週間まで)		
なし	ハダニ類	50 ～ 200 倍		発芽前		散布
	カイガラムシ類	50 ～ 100 倍		収穫後		
	ニセナシサビダニ	150 ～ 200 倍		10 月～3 月		
びわ びわ(葉)	ハダニ類	100 倍		8 月～3 月		
	ビワサビダニ	50 倍		果実収穫後 ～開花前		
	カイガラムシ類	25 ～ 50 倍		発芽前		
もも	モモアカアブラムシ	50 倍		発芽前		
ネクタリン	モモアカアブラムシ	50 倍		発芽前		
おうとう 小粒核果類	カイガラムシ類	100 ～ 200 倍		—		
きゅうり	ハダニ類	200 倍	100 ～ 300 ℓ	—		
いちご	うどんこ病	100 倍	200 ～ 700 ℓ	収穫後～萌芽前		
マンゴー	ハダニ類	50 ～ 150 倍	200 ～ 400 ℓ	発芽前又は 摘採直後		
茶	カンザワハダニ	50 ～ 100 倍	1000 ℓ	10 月～3 月		
	チャトゲコナジラミ	100 ～ 150 倍		5 月～9 月		
	クワシロカイガラムシ	50 ～ 100 倍		10 月～3 月		
		50 ～ 100 倍		10 月～3 月		

適用農薬名	作物名	使用方法
ベノミル剤	なし	本剤でベノミル剤を 20 倍に希釈し、塗布する。